

湖南省教育だより

令和6年(2024年)12月27日

No.3



発行 湖南省教育委員会教育研究所
 湖南省石部中央一丁目1番1号 西庁舎内

TEL 0748-77-7052(直通) FAX 0748-77-4101(代)
 Mail edkonan006@edu-konan.jp



湖南省リーディングDX事業の取組について

湖南省は、リーディングDX事業の指定を受けています。GIGA端末・クラウド環境を活用し、端末の日常使用を一層推進する目的です。主に授業改善と校務改善でのクラウド使用に力を入れています。今年度の指定校は、石部中学校、石部小学校です。

まずはクラウド使用を教職員が体験し、良さを知り、授業や校務で使いたくなるように仕掛けることで、最終的には、児童生徒もクラウド使用の良さを知り日常使用ができると考えています。

●校務と授業は相似形

図1 校務でICTの利便性や確信性を実感すれば、授業でもそれを生かして学びの質を上げることにつながる。ICTのスキルアップも授業で役立つ

日経BP 教育とICT no.29 より抜粋



R6.7.22
指定校実践事例



実践をご覧ください。



R6_石部小
リーディングDX



R6_石部中
リーディングDX

第8回「オビコン」を開催



市内4中学校の図書委員と有志のメンバーがおすすめの本の「本の帯」を作成する、年に一度のイベントです。市内の書店や図書館で展示し、「湖南省の中学生の感性が輝いています。やっぱり本はいいですね。そして、本屋さんのある街っていいですね。」「この本面白そう、読んでみたいと思う魅力的な帯ばかりでした。」等の感想をいただきました。

白山市から視察に



白山市学校図書館支援センター職員が学校司書定例会を視察に来られました。湖南省で行っている学校司書と担任等との授業相談会に対して、たくさんの質問がありました。先生が考えている教科の学びを深める単元構成に合わせて学校司書が読み聞かせやブックトークを行い、本の活用を進めていく、この流れを一人一人が実践している湖南省は素敵だと褒めていただきました。

湖南省ICTWGの実践

授業のねらいや目指す子どもの姿（情報活用能力）に焦点をあてて授業力アップを目指しています。校内で他の先生とつながりながら組織として協働・連携して取り組んでいます。

授業を見ていると、タブレットで文字入力をする際に、フリック入力を使う児童生徒が多いように感じます。家で使用しているスマートフォンと同じで使いやすく、困らないのだと思います。だからこそ、学校で学ばない限り、キーボード入力ができるようにはなっていません。学べば確実にできるようになります。中学校卒業時にキーボード入力によるコミュニケーションができることを目標に、日々指導していくことが大切です。



集める（必要な情報を様々な方法で収集・選択する力）

まとめる（情報を整理・比較しながら文章や図、表等にまとめる力）

伝える（自身がまとめたものをわかりやすく相手に伝える力）

小学校4年生 体育科



動画を活用した振り返りを行うことで、自己の動きを見直すことにつながりました。

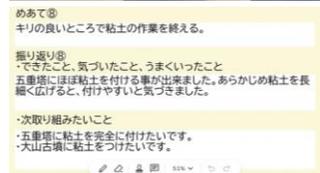
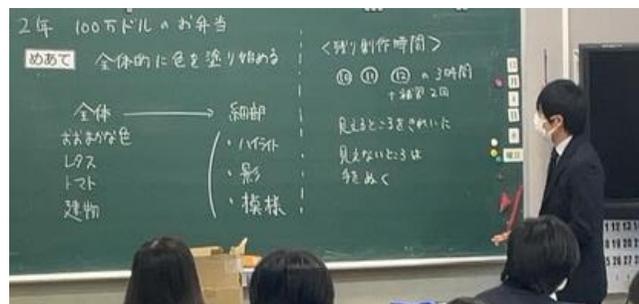


今までなら教師が児童のワークシートから一人一人の課題を書き出し整理する必要がありましたが、クラウド上でピン集計を活用することで、効率よく見取り・整理を行うことができました。そうすることで、児童も課題意識をもつことができ、主体的な学びを生み出すことに有効でした。自分自身や友達の学びから課題を見つけ（集め）、次の授業につなげていく実践でした。

教科の学びを深めるための工夫や、何を友達に伝えたらよいのかのモデル掲示も効果的でした。

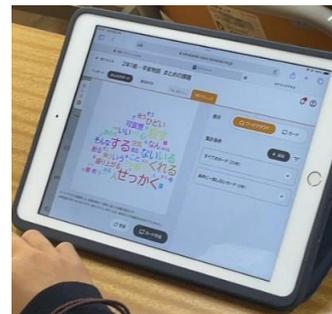
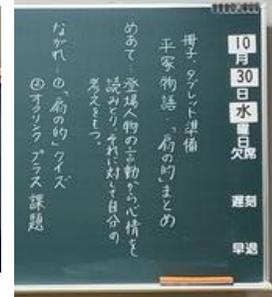
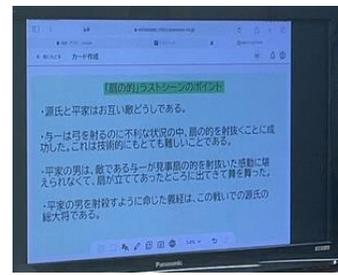


中学校2年生 美術科



毎日の振り返りを工夫して行うことで、友達の進捗や友達の振り返りからも学ぶことができます。聞きたい人に目的意識をもって聞くことができると、自然と対話も深まりました。美術科や図画工作科など児童生徒によって進捗が違う教科は、時間ごとの進捗が分かるようにするために、写真を撮影して振り返りにのせることも効果的でした。

中学校2年生 国語科



他者参照ができる環境があることで、自分が必要な情報を探すことができました。また、自分とは違う意見については、ワード分析機能を使うと、全体の傾向を把握後、一人ひとりの意見を知ることができました。友達の意見を把握した上で交流を行うことで、目的をもって聞きたい友達との対話を深めることにもつながりました。